



プロファイラ アプリケーションの設定と使用

- [プロファイラへのサーバの追加](#) (1 ページ)
- [データ プロファイリングの開始](#) (4 ページ)
- [プロファイリングの結果のダウンロード](#) (6 ページ)
- [サーバからのデータ収集の表示](#) (7 ページ)

プロファイラへのサーバの追加

プロファイラへのサーバの追加

HXワークロードプロファイラーのインストール後の最初のログインで、ランディングページにリダイレクトされ、ページの右上隅に[+ワークロードの追加 (+Add Workload)] オプションがあります。Kubernetes を選択すると、複数の Kubernetes ノードを追加できます。

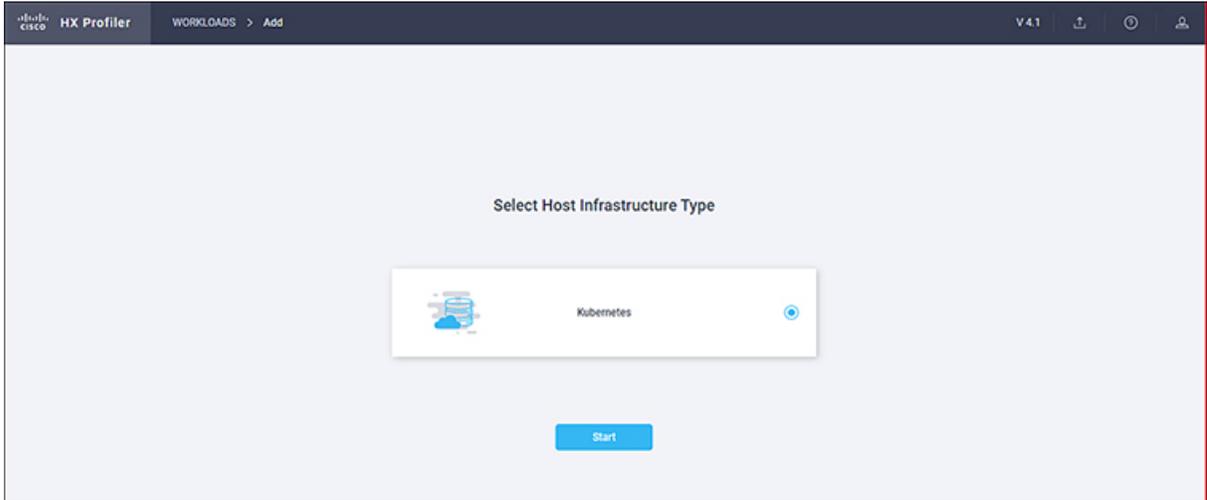
ホストのメトリックスを計算するため、プロファイラーはノード上のすべてのコンテナのメトリックスをキャプチャします。次に、プロファイリングするワーカーノードを選択する必要があります。デフォルトでは、すべてのノードが選択されています。

ワークフローには次のものが含まれます。

- **[全般 (General)] タブ** : Kubernetes ノードの詳細を記録してから、Kubernetes に接続します。接続が成功すると、[次へ (Next)] ボタンが表示され、プロファイリング設定を選択できるようになります。
- **[プロファイリング設定 (Profiling Setting)] タブ** : 以下を提供します。
 - **プロファイル名** : 一意である必要があるプロファイルの名前を指定します。
 - **プロファイル期間** : プロファイリングの期間を指定します。デフォルト値は7日、最小値は1日です。
 - **ポーリング間隔** : ポーリングが発生する頻度を指定します。

- クイック プロファイル: クイック概算見積書
- 詳細プロファイル: エンドツーエンドのプロファイルの詳細な結果。

ステップ 1 プロファイラへログインします。 [プロファイラへのログイン](#)を参照してください。



ステップ 2 表示される手順に従って、次のオプションの値を入力します。

項目	説明
Kubernetes サーバー名	追加する Kubernetes サーバーの名前。
ユーザ名	Kubernetes サーバーのログイン クレデンシャルの一部としてのユーザーの名前です。
[パスワード (Password)]	vCenter のログインクレデンシャルの一部として設定されたパスワードです。
ポーリング間隔	ポーリングを発生させる間隔。デフォルトは 20 秒です。この Kubernetes サーバーでポーリングされるホストとコンテナの数に基づいて、間隔を 20 ~ 120 秒の範囲で変更できます。

The screenshot shows the 'Step 1: General' configuration screen in the Cisco HX Profiler. The interface includes a 'Progress' sidebar with 'General' (1) and 'Profiling Settings' (2). The main content area is titled 'Step 1: General' with the instruction 'Add host details and credentials to configure workload'. It contains three sections: 'Cluster Details' with a 'Kubernetes Cluster Name *' field containing 'kube-profile'; 'Node' with a 'Node IP *' field containing four IP addresses: '10.2.14.250', '10.2.14.251', '10.2.14.252', and '10.2.14.253'; and 'Credentials' with 'Domain Username *' set to 'cisco' and 'Password *' masked with dots. At the bottom, there are 'Back', 'Close', and 'Next' buttons.

The screenshot shows the 'Step 2: Profiling Settings' configuration screen in the Cisco HX Profiler. The 'Progress' sidebar now highlights 'Profiling Settings' (2). The main content area is titled 'Step 2: Profiling Settings' with the instruction 'Add profile details and polling interval to start profiling'. It contains a 'Settings' section with three fields: 'Profile Name *' set to 'profile1', 'Profile Period' set to '7 Days', and 'Polling Interval *' set to '20'. At the bottom, there are 'Back', 'Close', and 'Start Profiling' buttons.

ステップ 3 [プロファイリングの開始 (**Start Profiling**)] をクリックします。プロファイラー サービスが自動的に起動されます。

接続ステータスが正常に接続されたことを示している場合は、[次へ (**Next**)] をクリックします。

ステップ 4 [ポーリング フィルタ (**Poll filter**)] タブで、階層値を確認します。

データ プロファイリングの開始

Kubernetes データ プロファイリングの開始

Kubernetes サーバーが正常に追加されたら、[データ インベントリ (Data Inventory)] (ホーム) ページに新しい Kubernetes サーバーが表示されます。プロファイルの名前と期間を指定することによって、プロファイル属性を設定します。

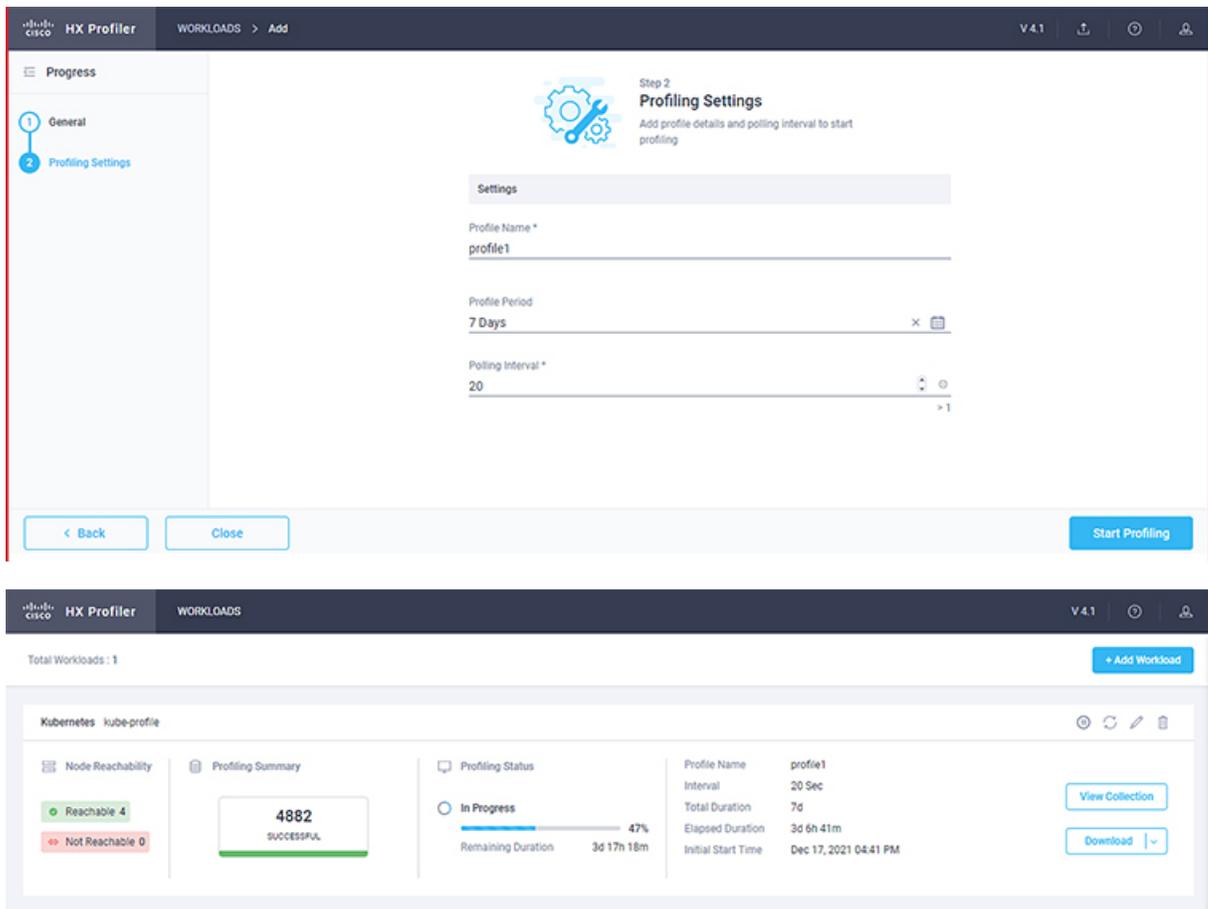
表 1: プロファイリング操作オプション

項目	説明
削除 (ゴミ箱)	過去に追加された Kubernetes サーバーを削除します。
編集 (ペン)	ポーリング用にホストを追加または削除するには、Kubernetes サーバー プロパティを編集します。
Stop (記号)	後で再開できるようにプロファイリングを停止します。
リセット (更新記号)	リセット操作を実行します。これにより、新しいプロファイルが作成され、ポーリングが開始されます。リセットをトリガーすると、プロファイラはアクティブ/実行中のプロファイルを停止し、新しいプロファイルを作成します。確認を求めるとプロンプトが表示されます。
収集の表示	[収集の表示 (View Collection)] ページが開き、プロファイリングの一部として収集されたデータを参照して、ホストおよびコンテナ レベルのデータを確認できます。

プロファイラ名、日数、およびポーリング期間を入力するとすぐに、ポーリングが開始されます。

ステップ 1 表示するダイアログで次の手順を実行します。

- a) プロファイル名を入力します
- b) [プロファイリング期間 (Profiling Period)] ドロップダウン リストから期間の値を選択します。
- c) [OK] をクリックします。



プロファイルの作成が成功すると、プロファイラは選択したホストとそれらのホスト上のすべてのコンテナのポーリングを開始します。ポーリングが開始されると、データコレクタはバックグラウンドプロセスとして実行されます。[データセンターインベントリ (Datacenter Inventory)] ページには、ホストの数とポーリングのステータスを示す、ホストとポーリングに関する情報が表示されます。

- ステップ 2 (オプション) 進行中のプロファイリング操作を停止して後で再開できるようにするには、[プロファイラサービスの停止](#) を参照してください。
- ステップ 3 (オプション) 進行中のプロファイリング操作を停止するには、[\[リセット \(Reset\)\]](#) を参照してください。その後、新しいものを開始できます。
- ステップ 4 (オプション) 収集されたデータを参照するには、[Kubernetes コレクションの表示 \(11 ページ\)](#) を参照してください。
- ステップ 5 (オプション) プロファイリング データをダウンロードするには、[Kubernetes プロファイリングの結果のダウンロード \(6 ページ\)](#) を参照してください。

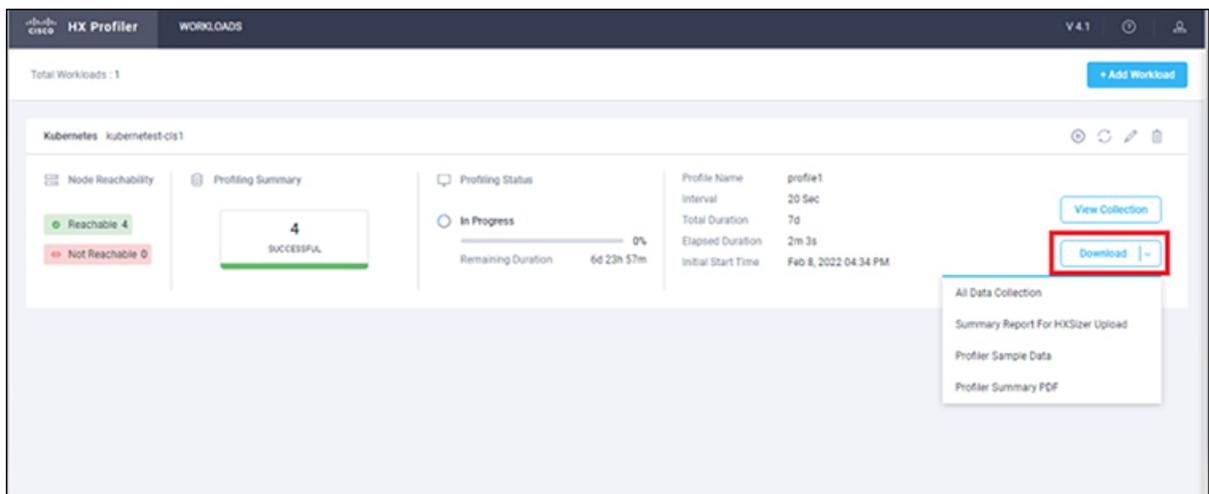
プロファイリングの結果のダウンロード

Kubernetes プロファイリングの結果のダウンロード

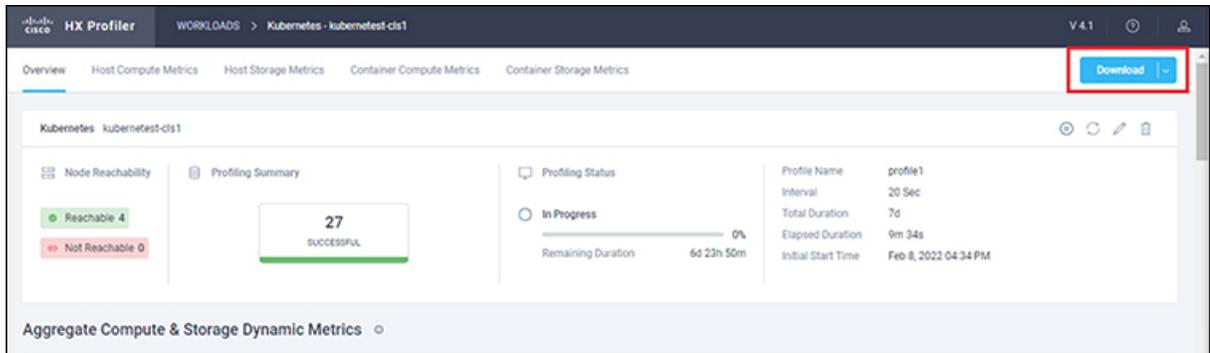
ステップ1 データセンターインベントリ ページで、ダウンロードするデータがあるプロファイルを検索して選択します。

ステップ2 [ダウンロード (Download)] オプションを使用して、次のいずれかを選択します。

オプション	説明
データ収集	ホストとコンテナの両方の概要、時系列と CVS をダウンロードします。
HxSizer アップロードの概要レポート	Kubernetes クラスタから情報を収集します。ダウンロードでは CSV 形式の出力が提供され、HxSizer の計算と容量のワークロードに直接アップロードできます。
プロファイラ サンプル データ	次の形式で選択されたプロファイルのサンプル化データをダウンロードします。 <ul style="list-style-type: none"> まとめられたホスト データ (CVS) まとめられたコンテナデータ (CVS) ホストの時系列データ (圧縮された CSV ファイル) コンテナの時系列データ (圧縮された CSV ファイル)
プロファイラ概要の PDF	PDF のダウンロード



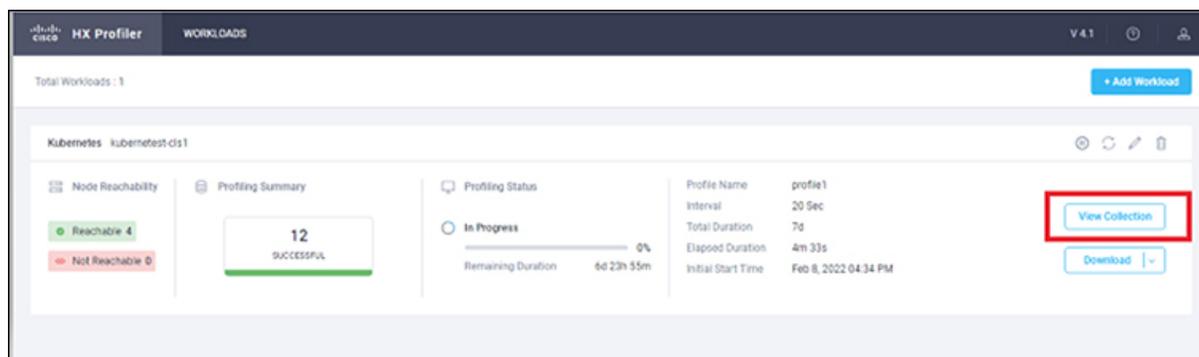
ステップ3 UIの右上隅にある[ダウンロード (Download)] ボタンをクリックして、さまざまなホストとコンテナのコンピューティング、ストレージ、およびネットワークデータを表示するときに、プロファイリング結果を引き続きダウンロードできます。



サーバからのデータ収集の表示

Kubernetes サーバーからのデータ収集の表示

[コレクション表示 (View Collection)] ページの左上には5つのタブがあります。それらは[概要 (Overview)]、[ホストコンピューティングメトリクス (Host Compute Metrics)]、[ホストストレージメトリクス (Host Storage Metrics)]、[コンテナコンピューティングメトリクス (Container Compute Metrics)]または[コンテナストレージメトリクス (Container Storage Metrics)]です。クリックすると、このセクションで説明する概要データが表示されます。[収集の表示 (View Collection)] ページでは、個々のノードおよびコンテナのコンピューティングの概要とストレージの概要についての概要データも表示されます。ページの右上隅にある定義済みフィルターを使用して、プロファイリングの特定の期間 (最小 30 分) のデータを取得することも、ユーザーがタイムラインを使用して期間を選択することもできます。次のセクションでは、フィルタ ツールを使用して各タブとビューに表示できる概要データについて説明します。



Kubernetes サーバーからのデータ収集の表示

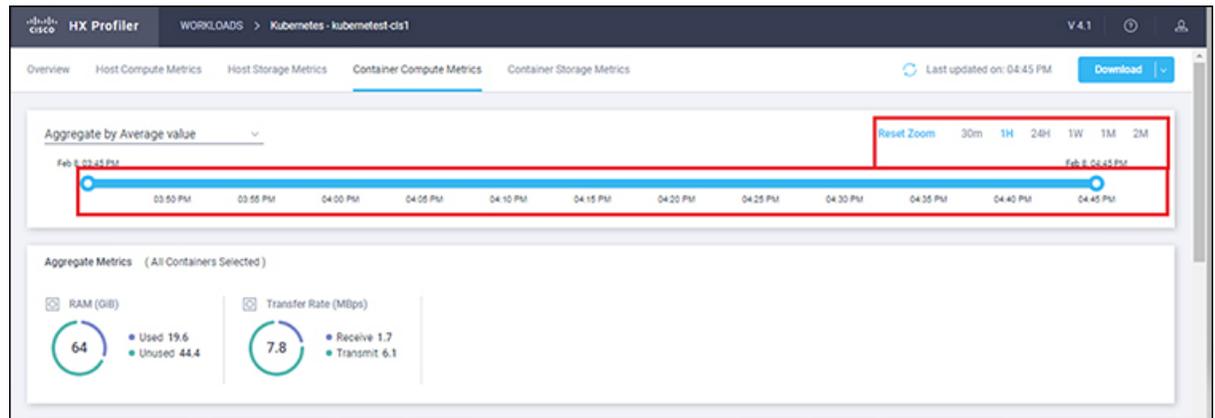
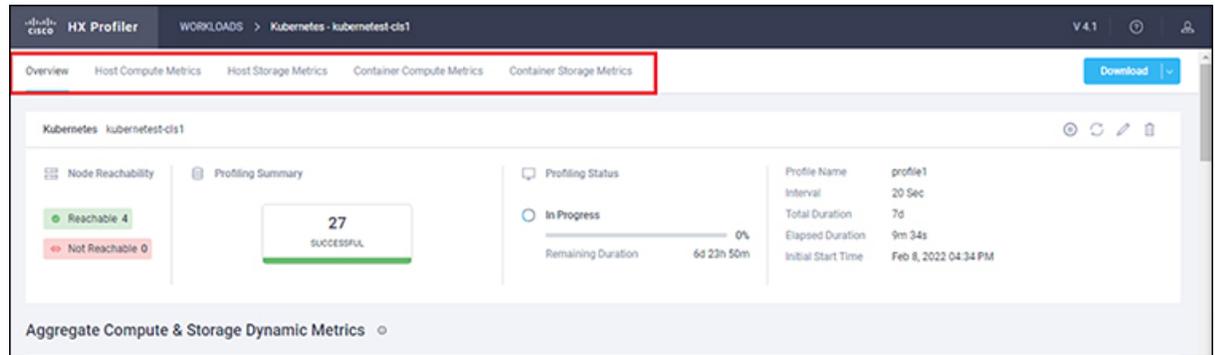
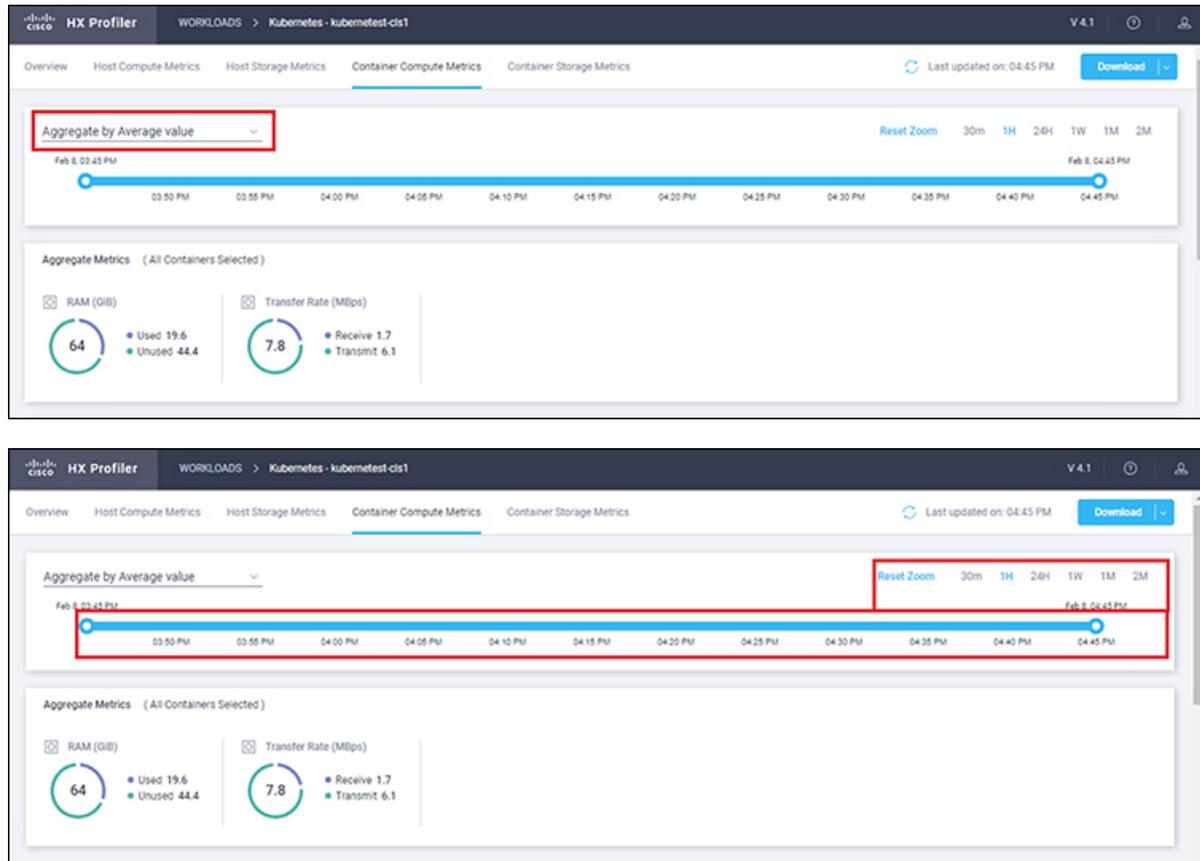


表 2: ホストビューのフィルタ オプション

項目	説明
アグリゲーション	<p>ピークまたは平均的な選択に基づいて、概要を表示するためのフィルタ。選択によって、テーブルメトリックスと傾向の表示を決定します。概要値は次のことを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ピーク: 選択された間隔ですべてのメトリックスのピーク値 • 平均: 選択された間隔のすべての値の平均

ホスト名のみによる検索オプションを使用して、ホストメトリックスをフィルタリングできます。コンテナメトリックスの場合、検索オプションを使用して、コンテナ名でフィルタリングできます。



ホストとコンテナの概要メトリクス

期間とパラメータ選択に基づいて、プロファイラはコンピューティングおよびストレージメトリクスをコンピューティングおよび入力します。メトリクスは次の値を表示します。

ホスト ビュー コンピューティング テーブル

- Host_Name
- プロセッサ タイプ
- クロック (GHz)
- #物理コア
- CPU Util (%)
- RAM (GB)
- RAM Util (GB)
- ネットワーク スループット- Rx (Mbps)
- ネットワーク スループット- Tx (Mbps)

ホスト ビュー ストレージ テーブル

- プロビジョニング済み容量 (TB)
- 使用済みストレージ容量 (TB)
- 読み取りスループット (Mbps)
- 書き込みスループット (Mbps)
- 読み取り
- 書き込み(%)
- Read IOps
- 書き込み IOps
- 読み取り遅延 (ms)
- 書き込み遅延 (ms)

コンテナ ビューのコンピューティング テーブル

- コンテナ名
- クロック (GHz)
- #物理コア
- CPU Util (%)
- RAM (GB)
- RAM Util (GB)
- ネットワーク スループット- Rx (Mbps)
- ネットワーク スループット- Tx (Mbps)

コンテナ ビューのストレージ テーブル

- コンテナ名
- ディスク領域 (GB)
- ディスク使用量 (GB)
- 読み取りスループット (Mbps)
- 書き込みスループット (Mbps)
- 読み取り
- 書き込み(%)
- Read IOps
- 書き込み IOps

- 読み取り遅延 (ms)
- 書き込み遅延 (ms)

ホストとコンテナの傾向

[収集の表示 (View Collection)] ページには、コンピューティングおよびストレージ パラメータの両方について、ホスト レベルとコンテナ レベルのでさまざまなパラメータの傾向を示す表と概要が表示されます。概要には、30 日間のサイジングの概要とともに、情報集約ストレージとコンピューティングマトリックスが表示されます。テーブルからホストまたはコンテナを選択して、傾向表を表示できます。

次ん値のメトリックスは、傾向表に表示されます。

ホスト ビュー コンピューティング傾向

- RAM 使用率 (GiB)
- 受信率 (MBps)
- 伝送率 (MBps)

コンテナ ビューのコンピューティングの傾向

- RAM 使用率 (GB)
- 受信率 (Mbps)
- 伝送率 (Mbps)

ホストおよびコンテナ ビューのストレージの傾向

- 読み取りスループット (Mbps)
- 書き込みスループット (Mbps)
- 読み取り率
- 書き込み率
- Read IOps
- 書き込み IOps
- 読み取り遅延 (ms)
- 書き込み遅延 (ms)

Kubernetes コレクションの表示

[ホスト (Hosts)] ビューと [コンテナ (コンテナ)] ビューのフィルタと検索ツールを使用して、対象とするホストとコンテナのみを表示することもできます。

Kubernetes コレクションの表示

- ステップ 1** [データセンター インベントリ (Datacenter Inventory)] ページで、[収集の表示 (View Collection)] をクリックして、収集したデータを参照します。
- ステップ 2** [コレクション表示 (View Collection)] ページで、[ホストコンピューティングメトリクス (Host Compute Metrics)]、[ホストストレージメトリクス (Host Storage Metrics)]、[コンテナコンピューティングメトリクス (Container Compute Metrics)] または [コンテナストレージメトリクス (Container Storage Metrics)] の間で切り替えます。
- ステップ 3** [コンテナの選択 (Select Containers)] タブで、表示するコンテナのチェックボックスをオンまたはオフにして、[次へ (Next)] をクリックします。デフォルトではすべてのコンテナが選択されています。
- ステップ 4** 別の期間のデータを表示するには、右上隅のオプションから選択します。デフォルトの最小値は 30 分です。選択した期間内の特定の時間範囲のデータを表示するには、固定期間の選択の上にある時間スライダを使用します。

